

【大豆加工指導グループ「まめひめ」による伝統食継承活動】

部署：食農福祉課

＜取組みの概要＞

- 大豆加工指導「まめひめ」活動に賛同する女性部員で構成したボランティアグループ(104名)。
- みそ造りを通して、福岡市管内(東区を除く)の小学校等で次代を担う子どもたちを対象に、公民館では地域住民を対象に、日本の伝統食のよさを広める活動を実施。



▼ 公民館みそづくり教室の様子



＜事業化(プロジェクト化)成功のポイント＞

- [1] 日本の食文化は急激に欧米化し日本の伝統食が失われつつあります。そのなかで伝統食であり優れた保存食でもある「みそ」にスポットをあて、子ども達への食育や地域住民へ広く”食べることの大切さ”をPRします。
- [2] ボランティア組織をJA運動の担い手として位置づけ、JAが主催する研修会やグループ合同会議を行うことでグループ各人の知識向上ができます。支店を超えた繋がりができ、組織活動の強化に繋がります。



▲ 小学校でのみそづくり教室の様子(上)と児童からの御礼の手紙(右)

＜農家のメリット・農協のメリット＞

農家のメリット

- ボランティアを通じて、地域貢献ができます。
- みそ造り指導を通して、保育園児や児童と触れ合うことが生きがいとなります。
- JAを通して、支店を超えた仲間づくりができ、その仲間と共に学ぶことができます。

農協のメリット

- 「食と農」を基軸とした取組みを地域住民へ広くPRする活動を行うことで、地域での「JAの存在感」をアピールできます。
- 伝統食継承の活動に賛同する同じ志の女性部員を、ボランティアグループとして位置づけることにより、女性組織の強化が期待できます。



みそづくり=組織活性化のミン!